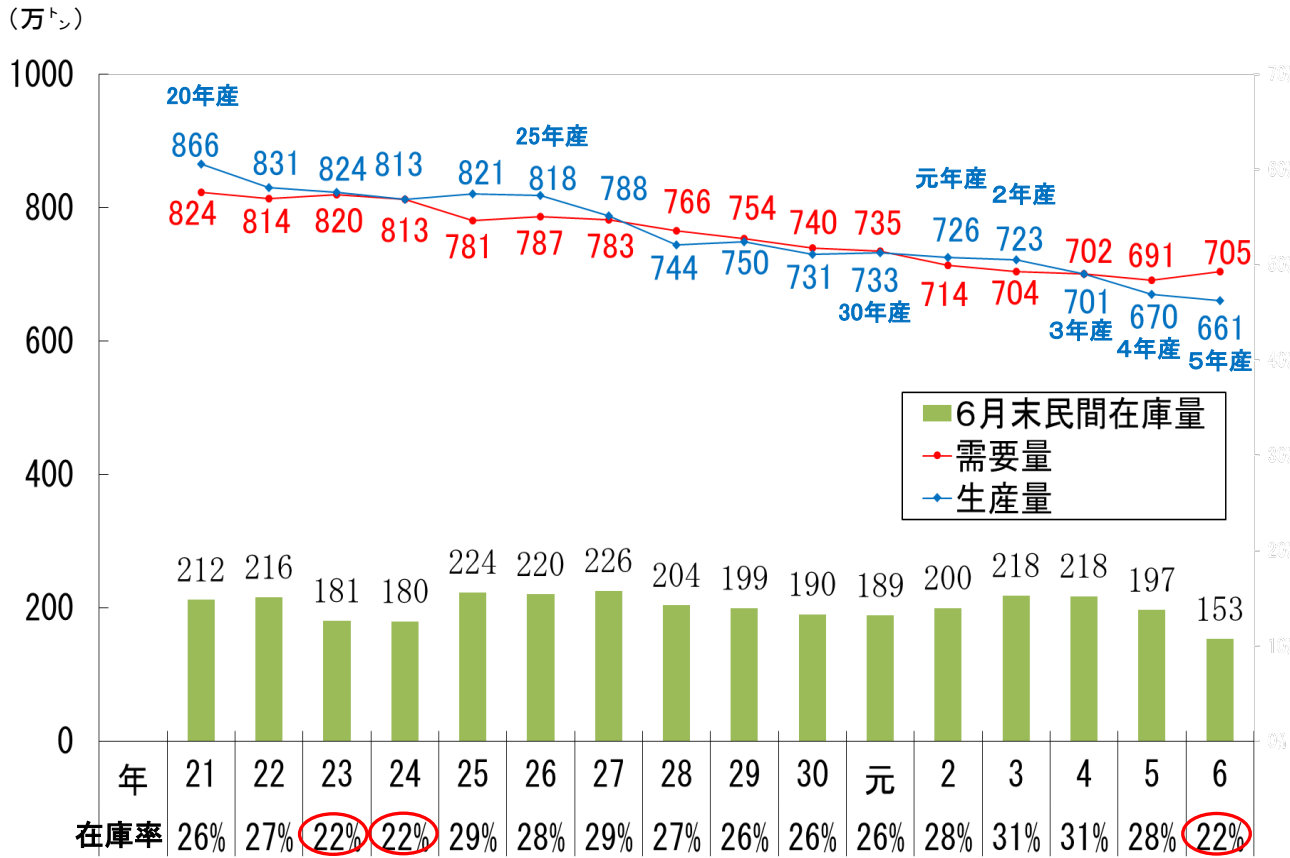


# 米の需給状況の現状について

## (1) 最近の米の需給動向(需要量、生産量、民間在庫)

- 最近の米の需給は、令和5年産米の需要が堅調に推移したことから、令和6年6月末の在庫量は近年では低い水準となっている。
- 一方で、在庫率(在庫量/需要量)で見れば平成23年、24年と同水準であり、全体需給としてはひっ迫している状況にはなく、十分な在庫量が確保されている。既に新米の出回りも始まっているが、引き続き、出荷、在庫等の状況を把握。



(参考)

需要が堅調であること(昨年より14万トンの需要増)の要因は以下のとおり。

- ①食料品全体の価格の上昇が続く中、米の価格が相対的に上昇が緩やか
- ②インバウンド等の人流の増加
- ③高温・渇水の影響により、精米歩留まりが低下

(※上記の需要量・生産量は玄米ベース。精米歩留まりの低下は玄米需要量の増加につながる。)

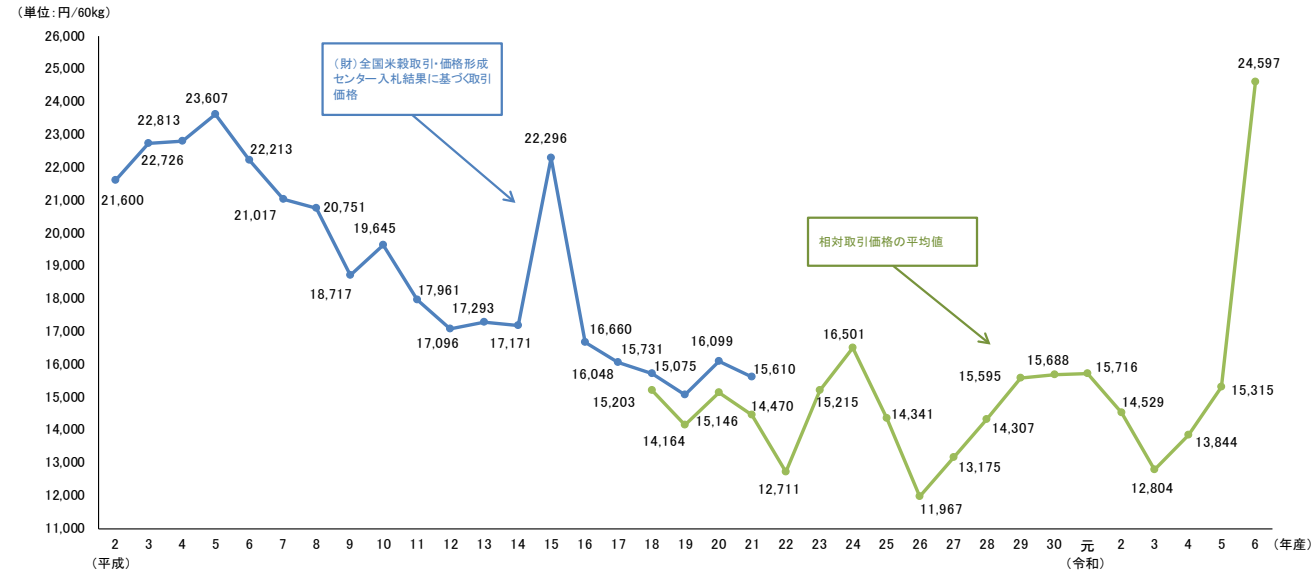
### <消費者物価指数の推移>

(令和2年=100、指数)

|    | R2年   | 3年    | 4年    | 5年    | 6年<br>(1~7月) |
|----|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 食料 | 100.0 | 100.0 | 104.5 | 112.9 | 116.1        |
| 米類 | 100.0 | 96.8  | 92.6  | 96.1  | 103.9        |
| パン | 100.0 | 99.5  | 109.6 | 118.4 | 121.2        |
| 麺類 | 100.0 | 99.7  | 107.1 | 118.9 | 121.8        |

## (2) 米の価格の推移

- 令和6年産米の令和7年4月までの年産平均価格24,597円/60kgは、出荷業者と卸売業者等の間の取引価格としては、比較可能な平成2年以降で過去最高の価格。



注：年産別平均価格(令和6年産は、出回りから令和7年3月までの速報値)。

## (3) スーパーでの販売数量の推移(POSデータに基づき作成、全国・週次)

- 令和6年4月以降の販売量は、令和4年及び5年と比較して堅調に推移。
- 販売数量については、令和6年8月に買い込み需要が発生したこと等により伸びが著しい週が3週継続した後、概ね前年同程度か、前年を下回る水準で推移。
- 令和7年5月19日~25日の販売数量は対前年同期▲8.3%。



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータ(全国約1,000店舗のスーパー、生協等)に基づいて農林水産省が作成。  
注：週次データを月ベースに当てはめているため、実際の月とは異なる場合がある。